

# とっぴと通信

2026年2月21日発行

275号

通信は  
略してとっぴ。  
いつも読んでいただきありがとうございます。

こんにちは！平川です。少しずつ春の気配を感じるようになってきました。さて福岡県では現在、昨年の9月から雨が少なく、深刻な水不足が続いています。今から48年前、昭和53年、私が中学生の時にも大洪水が起きました。当時九州北部は、深刻な水不足に見舞われ、287日間にもわたって結水制限が行われました。15時間しか水が出ない日もありました。毎日来る給水車には長蛇の列、お風呂も水程度しか出来ません。水洗トイレはポリバケツにためた水をヒシクで流しました。1日も早く雨が降ることを祈ります。では今月もはりきっていきましょう。

## 成長を感じた日

「お父さん、飛び込みを教えてください。」当時、中学生だった長男が言ってきました。話を聞くと、中学校で水泳部に入りましたが、なかなか飛び込みのコツがつかめず困っているとのこと。「よし、お父さんに任せなさい。」最近、めっきり会話が少なくなった息子が、私を頼ってきてくれたことがとても嬉しくて「それじゃ、今度の土曜日、市民プールに行こう」とすぐに約束をしました。実は私も中学生の頃、水泳部でしたので、多少自信があります。ここはカッコいい父親を見せなきゃと、念のためインターネッ

トで飛び込みの動画を確認しました。「へえ、最近の飛び込みは両足をそろえないんだ。」私達の頃は、両足をそろえ、飛び込み台の前面のふちに足の指を引っ掛け、蹴り出すグラブスタートでした。しかし最近では、オリンピックでもよく見ますが、片足を引いて飛び込むクラウンキングスタートが主流のようです。陸上のスタートと同じで反応してから飛び出しまで、素早い反応が得られるのがメリットです。「これって、ただ片足を引いて、飛び込めばいいんやろ？こんな簡単なじゃん」と自信満々で、いざ市民プールへ。ここは各種競泳大会が行われる本格的なプールです。まず息子にお手本を見せよう



とコース台に立つと「あれ？こんなに高かったっけ？」と、少々イメージと違います。「まずお父さんが、手本は見せちゃまけん、見ときなさい。こんな感じでコース台のふちに足の指を引っ掛ける。そして思いっきり飛びたいバッチャン。見事にお腹を打ちました。にわか仕込みのクラウンキングは失敗です。「お父さん、今お腹打ったやろ？」「なん言いよるとや、打つたらんか。もう一回するけん見ときなさい。今度はお腹を打たせて飛びのを教えちゃるけん」バッチャン。今度も思いっきり打ちました。どうも昔のように出来ません。「お父さん、今のお腹を打ったやろ？」「打つたらん」だってお腹が真っ赤やん「そんなことはよかけん、今度は見えてやるけん、してみなさい」「うん、すると息子は戸惑うことなく飛び込み台に立ち、少なくとも私が中学生の頃よりは上手でした。そして時間がくるまで何度も練習をしました。「お腹が減ったよね」私たちはプールの帰りにうどんを食べました。いつも肉うどんを食べる息子が、その日はなぜか月見うどんを注文しました。中学生になって好みが変わったのか、それとも大人ぶって注文してみたのが、すると「お父さん、この卵ってどうやって食べるの？」「つぶして食べてごらん」「ふん」。確かに分からないです。子供らしい質問にクスッと笑った一方で、いつまでこうして一緒に遊んでくれるのかなと、ふと寂しい気持ちになりました。「またプール行こうか」「うん、息子の成長を感じた一日でした。そして自宅に帰ったら妻が「お父さんの飛び込み、どうやっただ？」すると息子が「ヘタやっただ、おい、それを言うなって(笑)」

実は二人の息子の成長期と、会社を起業した時期がちょうど重なって、仕事に追われ、十分に遊んでやれなかったのが心残りなんです。ですからこんな他愛もない出来事でも、私にとっては大切な一日で、よく覚えていきます。成長期に、そんなに構ってやれなかったのに、息子たちが素直に育ってくれたのは、すべて妻のおかげです。感謝。

発行/有限会社アサム 平川雅樹  
〒819-1127 福岡県糸島市有田中央 2-14-36  
☎:092-321-4001 ✉:hirakawa@asam.jp  
・伊都倫理法人会ブログ : <https://itorinri.com/>